

サッカー部インターハイ ベスト16

去る6月2日から石川県のインターハイが開催されました。サッカー競技は5月29日から開始。我が附属高校サッカー部は1回戦不戦勝、2回戦は輪島高校に7-1で快勝。3回戦は小松市立高校に0-1の惜敗でした。小松市立高校は、近年ベスト4の常連で、本年度石川県新人船の優勝校です。U18石川リーグでもトップリーグに属します。今インターハイでは準々決勝で準優勝校の遊学館高校に敗れたものの強豪です。

对小松市立戦は、本校サッカー部の歴史の中でも語り継がれるような最高のゲームでした。前半20分、相手方にミドルシュートを決められたものの、FW山本泰資君は何度も敵方のゴールに迫りました。とにかく1点を取るんだという意気込みが観戦者にも伝わるプレーでした。守備では、DFの原慎之介君を中心に3年生の生駒透君の体を張ったディフェンスが再三のピンチを凌ぎました。GKの森下耀君の好セーブも光りました。ボランチの高木馬白君、菊地淳彦君もよく守り、ハイプレッシャーの中で激しくボールの奪い合いを展開していました。林虎太郎君も最後まであきらめずゴールに向かいました。本当にピッチのイレブンのプレーは文字通り「必死」でした。のみならずベンチ・マネージャー、さらには保護者の応援が一体となって戦ったゲームだったといえます。試合に際し、遠路、応援に来ていただいた保護者の方々には厚く感謝申し上げます。

これで一昨年に続きベスト16入りを果たしました。サッカー部にも新たな時代が到来したような感があります。とりわけ63回性を中心としたチームは、キャプテン高木馬白君を核としてよくまとまり、64回生も良く支え、個々の技術力も高く、「攻撃的」なチームとし多くの勝利を獲得してきました。昨年秋の高校サッカー選手権も2年連続、県大会に出場しました。8グループで戦った新人戦では、グループ内3位、3位リーグで優勝したので、実質17位でした。今春のU18サードリーグでも6連勝、総得点32、総失点8の攻撃力を発揮していました。(63回生引退後も勝利して7連勝中)

運動場も狭く劣悪で、練習時間も少ない、部員数も他の強豪校に比べれば少ない、さらには指導者もいない。そのような中で附属高校サッカー部は本当によく頑張りました。総体後、64回生を中心とするチームがキャプテン南昂宏君を中心に指導しました。現在U18セカンドリーグに昇格するために、また秋の選手権を目指してトレーニングに励んでいます。皆様方の応援をよろしく申し上げます。

今回、保護者の方からインターハイの写真を頂戴いたしましたので、スクロールして御覧ください。 (文責 サッカー部顧問 山本吉次)

インターハイ 2 回戦 輪島戦





イ



インターハイ 3 回戦 小松市立戦





2011 年度附属高校サッカー部員



附属高校サッカー部 2・3 年生部員



附属高校 3 年生部員

